

概要

医療を担当する場としての医療施設には、病院・診療所・老人保健施設があるほか、広い意味で薬局・医療品販売業も含まれます。

病院・診療所・老人保健施設については、その分布と整備の実態を明らかにするために、「医療施設調査」や「社会福祉施設等調査」「介護サービス施設・事業所調査」等が実施されています。

また、病院・老人保健施設における患者・入所者・通所者等の利用状況については、病院や老人保健施設の管理者から「報告」が提出されています。

病院・診療所の施設数及び病床数の年次推移は、表1のとおりです。

1 病院

(1) 平成17年10月1日現在の病院数は153施設で、前年と比べて2施設減少しています(休止、休診中の施設を除く)。人口10万対病院数は10.4(全国7.1)で、全国平均を上回っています。

なお、市部・郡部別にみると、市部10.7、郡部8.1となっています。

また、開設者別では、医療法人98施設(構成比64.1%)、個人5施設(同3.3%)、公的医療機関24施設(同15.7%)、公益法人14施設(同9.2%)、国4施設(同2.6%)等となっています。

(2) 平成17年10月1日現在の病院の病床数は23,774床で、前年に比べ40床減少しました。人口10万対病床数は1,619.7床(全国1,276.9床)です。

なお、病床を種類別にみると、一般病床12,502床(人口10万対851.7床)、精神病床5,212床(同355.1床)、結核病床246床(同16.8床)、感染病床26床(同1.8床)、療養病床5,788床(65歳以上人口10万対1,644.4床)となっています。

(3) 平成17年中の病院の利用状況をみると、在院患者延数は7,427,827人(前年7,490,915人)、平均在院日数は40.4日(同40.9日)、人口10万対1日平均外来患者数は1,629.4人(同1,649.5人)となっています。

また、病床利用率についてみると一般病床等が82.1%(前年82.8%)、精神病床が89.5%(同90.0%)、結核病床が18.7%(同19.6%)で、全体では85.7%(同86.1%)となっています。

2 一般診療所

- (1) 平成17年10月1日現在の一般診療所数は1,208施設で、前年と比べて1施設減少しています(休止、休診中の施設を除く)。人口10万対一般診療所数は82.3(全国76.3)で、全国平均を上回っています。
- (2) 平成17年10月1日現在の一般診療所の病床数は5,501床で、前年に比べ648床減少しました。人口10万対病床数は374.8床(全国130.7床)で、全国平均を大幅に上回っています。

3 歯科診療所

平成17年10月1日現在の歯科診療所数は686施設で、前年と比べて2施設増加しています。人口10万対歯科診療所数は46.7(全国52.2)で、全国平均を下回っています。

4 薬局・医薬品販売業

- (1) 平成17年度末現在の薬局数は536施設です。
- (2) 平成17年度末現在の医薬品販売業を業種別にみると、一般販売業200(卸売を含む)、薬種商販売業149、配置販売業107、特例販売業102となっています。

5 介護老人保健施設

平成17年10月1日現在の介護老人保健施設数は62施設で、前年と比べ2施設増加しています。入所定員数は4,971人で、前年と比べて145人増加しています。

6 訪問看護ステーション

平成17年10月1日現在の訪問看護ステーション数は85施設で、前年と比べて1施設増加しました。